



しぐま

No.73

社会医療法人 河北医療財団
河北総合病院
医療連携広報紙

乳腺外科 / 形成外科・美容外科

乳房再建のご紹介

乳腺外科は今年4月より、消化器・一般外科から独立します。形成外科・美容外科と密な連携にて、「乳房再建」に力を入れています。

放射線科

検査機器のご紹介

脳神経外科診療体制のお知らせ

順天堂大学を卒業後、順天堂大学脳神経外科学教室に入局し、順天堂医院、同分院、その他の関連病院で、主にくも膜下出血や脳内出血、脳梗塞などの脳卒中や、頭部外傷、脳腫瘍、水頭症、脊椎脊髄疾患、小児脳神経外科疾患など、脳神経外科疾患全般にわたって診療に従事してまいりました。

これまで順天堂大学脳神経外科からの協力を仰ぎ、脳血管内治療グループ、脊椎脊髄センター、てんかんセンターなどの各専門グループと協力し、幅広く診療をおこなってきました。具体的には、従来、くも膜下出血の原因である脳動脈瘤は開頭動脈瘤クリッピング術が、また、脳梗塞の原因となる内頸動脈狭窄症は直接頸部を切開する内頸動脈内膜剥離術がひろくおこなわれてきましたが、最近では脳血管内治療医により脳動脈瘤はコイル塞栓術、内頸動脈狭窄症はステント併用血管拡張術などの手術侵襲の低い、患者さんに優し

脳神経外科 部長

たけだ のぶあき
武田 信昭 医師

卒業大学：順天堂大学



主な専門分野

脳神経外科疾患全般

認定専門医・所属学会等

日本脳神経外科学会認定医

日本脳卒中外科学会

い方法が選択されつつあります。これまで、各専門医グループの協力のもとに各々の疾患の治療をおこなってまいりました。これからも引き続き、診療の質にこだわった専門的治療をおこなっていく所存です。

どうぞよろしく願いいたします。

乳腺外科のご紹介

乳がんと診断された場合、遠隔転移がない限り標準的な治療として手術は必須です。

乳房の手術には、大まかに2種類の方法があります。乳房をすべて摘出する乳房切除術と、乳がんとその周囲のみを切除する乳房温存術です。乳房温存術が広まって、乳房形態を損なわずに治療をすることが可能になりました。しかしながら、病変の部位や大きさによっては、乳房温存術をおこなうことは困難なため、乳房切除術を選択します。乳房切除術後は、喪失感で悲しい気持ちになったり、温泉やジムに行くときに気になったりしてQOLが下がる患者さんも多くいらっしゃいます。そういった精神的なショックを緩和し、QOLを上げるための手術が乳房再建術です。

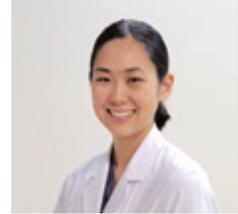
乳房再建術は、乳がんそのものに対する治療ではなく、**年齢や体型に関わらず術後のQOLを豊かにする**ためのものです。ご自分の乳房に対する思いの強さは患者さんによって異なります。そのため、再建することも、しないことも、どちらも正解です。しかし、強く乳房再建を希望されていても、乳がんの進行具合や治療法によっては、乳房再建のリスクが大きく、お勧めできないこともあります。再建するタイミングは、乳房切除と同時にこなうことも可能ですし、切除後、しばらくしてからこなうことも可能です。そのため、最初は乳がん自体の治療に専念して、そちらが落ち着いてから再建をする、という方法も選べます。乳房切除術から数年経過していても、再建したいと考える患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。保険適応内での再建術が可能です。

ただし、乳房再建を選択された場合、患者さんにご理解いただきたいことがあります。乳房再建というのは、あくまで新しく乳房のふくらみを作ることであり、元のお胸に

乳腺外科

あんどう みちこ
安藤 美知子 医師

卒業大学: 筑波大学



主な専門分野

乳腺外科

認定専門医・所属学会等

日本外科学会専門医

日本乳癌学会乳腺専門医

検診マンモグラフィ読影認定医

緩和ケア講習会修了

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会責任医師

戻すことではありません。また、乳房再建すると、健側の乳房は徐々に下垂するため時間とともに左右差が出てきます。再建するための時間・費用（保険適応ですが）も必要です。再建をすることで新たに起こりうる合併症もあります（感染症等）。こういった、乳房再建のメリット・デメリットをお伝えして、患者さんにとってベストな治療を一緒に考えていきます。

当院では、昨年、乳房切除後の人工乳房再建術の施設認定を取得しました。そのため、乳房再建希望の患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。乳房切除は乳腺外科で、乳房再建術は形成外科の先生にお願いして、協力してこなっていきます。



温泉に入るときに気にならない



プールで泳ぐときに気にならない



再建したほうがよいのかしら？



メリット・デメリットをお話し、よく相談します。

[次は形成外科の先生による具体的な乳房再建術の説明です。](#)

形成外科・美容外科のご紹介

乳がん切除後の乳房再建手術は、健康保険の適応であり、標準的な治療の一つとなっています。特に、2014年よりアナトミカルタイプ（しずく型）の乳房インプラントが保険適応となり、再建を希望する患者さんも増加しております。

当院も、シリコンインプラントの乳房再建の施設認定を受けており、患者さんの希望に応じた再建方法を選択することが可能です。

乳房の再建方法について

乳がんの術後にすぐおこなう方法（即時再建あるいは一時再建）と、乳がん術後しばらく時間をおいて再建する方法（二次再建）があります。近年は一時再建が多くなっています。

乳房の再建法は大きく分けて、自家組織による再建と乳房インプラントによる再建があります。状態によって、希望する再建法が適応とならない場合もありますので、担当医とよく相談し決定します。

・自家組織による同時再建手術

欠損した皮膚と皮下組織を自分の組織を移植して再建します。乳房皮膚をある程度切除しなければならない患者さんの場合には、胸に移植した部分の皮膚を露出させることがあります。従来よりおこなわれている方法です。自分の組織で乳房が作れる一方、手術時間が長いことや、背中や腹部に傷が残るデメリットがあります。

・乳房インプラントによる同時再建手術

皮膚を切除しなくてもよい患者さんで、乳房の大きさが小さい患者さんなどが対象となります。

・組織拡張器（エキスパンダー）の同時挿入

欠損した皮膚を補うため周囲の皮膚を伸ばし、また再建のためのスペースを作成し今後の再建に備えるため、シリコン製の組織拡張器を挿入します。近年ではまずこのエキスパンダーを挿入し二期的に再建する症例が多いです。ただし2回に分けて手術が必要です。外来でエキスパンダーに水を注入し約半年かけて皮膚を拡張します。

形成外科・美容外科

かい あきこ
海 暁子 医師

卒業大学：金沢医科大学



主な専門分野

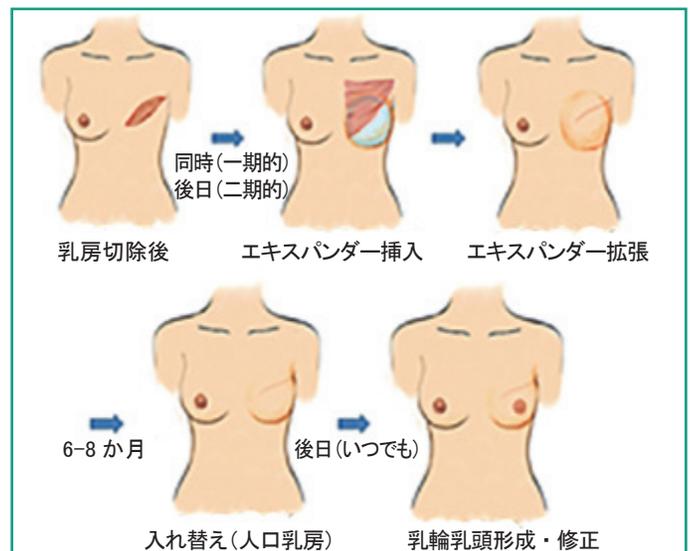
形成一般

認定専門医・所属学会等

日本形成外科学会専門医

日本乳房オンコプラスチックサージャリー

学会医師



インプラントによる再建のイメージ

近年は、シリコンインプラントが保険適応になったこと、また手術時間も自家組織による再建よりも短いことから、インプラントを希望される患者さんが増加しています。

しかし異物であることから、長期的に見て変形が起こる可能性もあります。

それぞれにメリット・デメリットがありますので、エキスパンダーで拡張している間にじっくり考えてから決めていただきます。

なお、乳がんの治療と再建はまったく別のものですから、必ず乳腺外科で乳がんの定期検診を受けられるようお勧めしています。

また当院は大学病院とも提携しておりますので、ご紹介も可能です。

検査機器のご紹介

当院ではCT, MRI を含む画像診断のほか骨密度測定や核医学検査、心臓、腹部のみではなく表在・乳腺・血管・関節など多種に渡る超音波検査などもおこなっています。

CT 検査

CT 装置は64列CTのほかに今年、32列のCTを導入しました。

検出器の数は当院で従来から使用している64列CT装置に劣りますが、特殊なフィルターを用いた機種で被ばくが低減されます。主に低線量での画像で診断可能な胸部CTの予約を受けています。



MRI 検査

MRI は1.5テスラのほかに0.4テスラの低磁場オープンタイプの装置があり、主に閉所恐怖症の方などに用いています。ただしオープンタイプでも側面が開いているだけで、眼前には装置が来るので圧迫感を感じる方もいらっしゃるので事前にご相談ください。



マンモグラフィー検査

マンモグラフィーの装置も昨年、新しい装置を導入し、画質が向上しトモシンセシス撮影も可能になりました。

血管撮影検査

血管撮影装置も来年度5月には最新型に更新予定です。

CT・MRI 対応ペースメーカー使用の患者さん対応について

冠動脈CTやMRI対応ペースメーカー使用の患者さんのMRI検査は循環器内科の立ち合いのもとでおこなっています。

放射線科 部長

はやの ちえ
早野 千恵 医師

卒業大学：東京女子医科大学



主な専門分野

画像診断

認定専門医・所属学会等

放射線診断専門医

す。事前にご相談ください。

当院では地域との連携を大切にしており、予約枠にも地域専用枠をご用意していますが、緊急性のある場合には優先的に対応いたしますので必ずご連絡をお願いします。

報告書作成について

報告書は放射線診断専門医が作成しており、できるだけ早い報告書の作成を心がけております。検査時に予想外に早い対応が必要と思われる病変を発見した場合には地域支援課経由ですぐに連絡させていただくことがあります。

どうぞよろしくお願いいたします。

検査装置一覧

装置名	台数	装置名	台数
X線撮影装置 (FDH) (IP)	6	ラジオアイソトープ撮像装置	1
64列マルチスライスCT撮影装置	1	透視撮影装置	1
32列マルチスライスCT撮影装置	1	血管撮影装置 (FDP)	2
ZIOステーション (3D構築)	1	ポータブル撮影装置 (FPD) (IP)	5
1.5テスラ MRI撮像装置	1	手術室外科用イメージ装置	2
0.4テスラ オープンMRI撮像装置	1	骨密度測定	1
乳房撮影装置 (FPD)	1	超音波診断装置	9

